

令和4年度（2022年度）

公益財団法人蘭島文化振興財団

事業計画

1 事業運営の基本方針

地域文化の振興を目指した諸事業を行うとともに、地域文化に関する教育普及活動の推進を図り、もって呉市民の文化振興と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

2 定款に定める事業

- (1) 蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業
- (2) 昆虫の家における自然環境保全啓発事業
- (3) 松濤園における芸術文化振興事業
- (4) 白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 事業の詳細

公益目的事業1「蘭島閣美術館、蘭島閣美術館別館、三之瀬御本陣芸術文化館における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

【特別展】

三之瀬御本陣 芸術文化館	特別展 「グリコ展—須田国太郎の愛したグリコのおもちゃ—」（仮称） 画家で美術史家の須田国太郎は、晩年、キャラメルのおまけとして投入されたグリコのおもちゃの発想と造形美に魅了され、多くをコレクションした。本展では、当館が所蔵する715点の須田のコレクションに加えて、大阪の江崎記念館からもおもちゃや資料の提供を受け、大正期から現在までの100年に及ぶグリコのおもちゃの変遷と魅力を、グリコ誕生の秘話や創業者江崎利一氏の思いとともに紹介する。
-----------------	--

蘭島閣美術館	<p>秋季特別展</p> <p>「奇跡の立体切り絵 SouMa の唯一無二の世界」(仮称)</p> <p>島根県松江市出身の立体切り絵作家 SouMa は、小学生の頃から切り絵を始め、独学で表現を磨いた。下絵や設計図はほとんど使用せず、自身の感性に任せて創出される作品は、平面的なものから立体的なもの、光との融合など幅広く、唯一無二の独創的な世界を展開している。本展では、SouMa が制作した美しく繊細な神業切り絵作品を紹介する。</p>
--------	--

【所蔵品展】

蘭島閣美術館	<p>「色をたのしむ展覧会」、「瀬戸内の作家たち」、「人の表現・暮らしの表現」、「百花で魁(さきがけ)」、「黒の魅力」</p>
蘭島閣美術館 別館	<p>「描かれた女性たち」、「寺内萬治郎と同時代の作家たち」、「LINE 一本の線から」、「寺内萬治郎の油彩画」</p>
三之瀬御本陣 芸術文化館	<p>「須田国太郎と独立美術協会の仲間たち」、「鳥海青児 美の交遊／須田国太郎 美の探求」、「須田国太郎のあゆみ」、「くらしの美」、「須田国太郎と京都ゆかりの芸術家」</p>

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

海や山などに囲まれ、恵まれた自然環境を生かし、市民が気軽に学習、制作活動に参加できるワークショップ・講座等を開催する。

【地域連携プログラム】

市内教育・文化 施設等	<p>「芸術文化普及事業」【自主事業】</p> <p>絵画作品の無償提供を受け、教育・文化施設又は福祉施設などの公共施設を中心に絵画の貸し出しを行い、市民や児童・生徒が芸術作品に触れる機会を提供することで、芸術文化の普及を図る。</p>
----------------	--

【ギャラリーコンサート】

蘭島閣美術館	美術館という特別な環境の中でクラシックコンサートを開催し、美術と音楽という異なる種類の芸術を同時に楽しんでもらうことにより、芸術に対する一層の意識の向上を図って行く。
	4月16日 堀正文（ヴァイオリン）、三又瑛子（ピアノ）
	5月21日 荘村清志（ギター）
	6月18日 橋本京子（ピアノ）
	7月16日 大谷康子（ヴァイオリン）、調整中（ピアノ）
	8月20日 伊藤圭（クラリネット）、榊原紀保子（ピアノ）
	9月17日 通崎睦美（木琴）松園洋二（ピアノ）
	10月15日 津田裕也（ピアノ）
	11月19日 高木綾子（フルート）、調整中（ピアノ）
	12月17日 小山実稚恵（ピアノ）
	1月21日 金子平（クラリネット）黒田英季（ピアノ）
	2月18日 小川加恵（ピアノ）、水谷晃（ヴァイオリン）
	3月18日 吉野直子（ハープ）

【ギャラリーコンサート関連事業】

蘭島閣美術館	「ミュージック&アーツ」【自主事業】 音楽や美術を通じて、子どもたちの感情や情緒を育み、創造的で個性的な心を豊かにする。
〃	「コンサート講演会」【自主事業】 コンサートに関する講演会を開催し、クラシックコンサートに対する理解を深めてもらう。
市内小学校等	「ミニコンサート」【自主事業】 ギャラリーコンサート出演者等の協力を得て、学校等においてクラシックコンサートを行い、子どもたちの豊かな感性を育てていく。

（3）収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

公益目的事業2「昆虫の家における自然環境保全啓発事業」

(1) 展覧会事業：

地域の自然環境保全や生物保護への意識向上に資するため、昆虫標本や、生き物をモチーフとした美術品等の鑑賞機会を提供する。

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

「ふれあい海岸教室」【自主事業】及び「ふれあい昆虫教室」【自主事業】
市民が気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。特に、下蒲刈島の豊かな自然に触れ、身近な生物である昆虫あるいは貝や海藻の観察や採集を通して、生命の尊さや自然環境保護の重要性について学び、豊かな感性を養って行く。

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、環境教育の普及に努めると共に、児童・生徒の環境保全活動に対する支援を行って行く。

公益目的事業3「松濤園における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

【所蔵品展】

松濤園	朝鮮通信使資料館：「朝鮮通信使をめぐる人々」、「視点—朝鮮通信使と日本—」、「朝鮮通信使— ユネスコ「世界の記憶」登録から5周年—」、「朝鮮通信使が見た江戸文化」、「下蒲刈の歴史—朝鮮通信使と琉球使節団」 陶磁器館：「やきものの見方」、「藍柿右衛門 描かれた細密画」、「The Journey of IMARI～旅する伊万里～」、「Bizen その歴史と再興」、「柿右衛門の赤と、余白の美」
-----	--

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

市民や子供たちが気軽に学習、制作活動に参加できる各種講演会や講座を開催する。

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、児童や生徒に対する文化の向上に努めると共に、地域が培ってきた伝統文化の継承を進めて行く。

【地域に息づく歴史と文化を普及啓発する事業】

「朝鮮通信使再現行列」(10月16日)

地域の歴史の掘りおこしと日韓友好への一助を目的に、江戸時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」行列の再現を行う。行列の参加者は広く地域住民に求め、地域振興の一環として実施する。

「秋のお茶会」(11月上旬)と「春の梅見茶会」(2月中旬)

松濤園の日本建築と瀬戸内の自然を借景に取り込んだ日本庭園を活用した茶会を催し、茶道という日本の伝統文化の継承に努め、併せて地域文化の向上に努めて行く。

(3) 収蔵品等管理、調査・研究事業

上記の展覧会事業、教育普及事業を企画するため、収蔵品及び寄託品等の管理業務と、地域の歴史と美術に関する調査・研究活動を行い、より質の高い事業の推進に役立てて行く。

公益目的事業4「白雪楼、春蘭荘・松籟亭・煎茶室における芸術文化振興事業」

(1) 展覧会事業

広く芸術文化(主に体験型の日本文化)の振興に資するため、美術品や建築等の展示を行うと共に、地域に根付く日本文化の体験機会を提供して行く。

(2) 教育普及事業

【講演会・教室等】

松籟亭	「茶道教室」(毎月2回)【自主事業】 武家茶である上田宗箇流による茶道教室を開催し、広島県の伝統文化の継承を図る。
-----	--

【地域連携プログラム】

教育機関等と連携し、体験学習の普及に努める共に、児童・生徒の日本の伝統文化に対する理解を深めて行く。